

【専門医派遣41】

令和6年度長崎県学校保健専門医派遣事業 報告書

学校名 長崎市立長崎商業高等学校

実施日 令和6年11月14日(木)

場 所 長崎市立長崎商業高等学校 体育館

講 師 医療法人愛育会 花みずきレディースクリニック 濱崎 哲史 氏 (産婦人科医)

形 態 ・講話 ・職員研修 ・その他()

参加者	生徒 (3) 学年	学校職員	保護者	その他 ()
	(223) 人	(15) 人	(0) 人	() 人

テーマ【 妊娠の成り立ちとライフプラン 】

テーマと
内 容

内容(具体的に)

- ・男女の思春期の体の変化(二次性徴)
- ・妊娠の成り立ち
- ・妊娠週数の数え方
- ・避妊・中絶
- ・子宮頸がんについて(疫学・予防)

<当日の様子> * 事業の様子等を必ず画像で添付してください。



<講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等>

講師からは、妊娠の成り立ちや妊娠週数の数え方とそれに対応する身体の変化、また月経痛の対処法について説明があった。さらに、子宮頸がんの疫学や予防方法に加え、公費での予防接種を受けられる期限についても詳しく紹介された。

講話後の生徒の感想文から、胎児のエコー写真や心音を通じて生命誕生の神秘に触れたことで、命の大切さを感じ、命を守る行動選択への思いを新たにされた様子が窺えた。また、子宮頸がんに関する記述も多く見られた。科学的根拠に基づいた専門医の説明だからこそ、予防の重要性が強く心に響いたのではと思われる内容で、予防接種や定期検診の重要性を改めて考える機会となったことが読み取れた。

【専門医派遣42】

令和6年度長崎県学校保健専門医派遣事業 報告書				
学校名	長崎市立土井首中学校			
実施日	令和7年2月27日(木)			
場 所	長崎市立土井首中学校			
講 師	今村 健仁 氏 (いまむらウイミズクリニック 産婦人科医)			
形 態	・講話 () ・職員研修 () ・その他 ()			
参加者	生徒 (3) 学年 (103) 人	学校職員 (10) 人	保護者 (0) 人	その他 () 人
テーマと内容	<p>テーマ【 今の中学生が知っていてほしいこと 】</p> <p>内容(具体的に)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産婦人科とは: 妊娠・出産の悩みを抱える人だけではなく、月経などの女性特有の悩みを抱える人も受診することができるなど。 ・男女のからだの変化: 男女のからだのつくり・仕組みなど ・10代の妊娠事例: 今村先生が実際に対応をした事例の紹介など。 ・妊娠の仕組み・人工妊娠中絶について: 妊娠には適齢期があるが、中学生は今妊娠すべきではないという話など。 			
<p><当日の様子></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>				
<p><講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等></p> <p><講師から></p> <p>産婦人科は、妊娠の悩みだけではなく、女性の体や心の悩みを相談していい病院なのでいつでも何か不安なことがあったら相談しに来てほしい。また、好きな人とお付き合いすることは自由である上で、その延長線上に性行為があり、その性行為には、赤ちゃんが生まれる可能性があるということを忘れないようにしてほしい。妊娠することはとても素敵なことだが、年齢や自分や相手の状況を踏まえたうえで「今妊娠したら育てることができるか。」ということは何度も考えてほしい。そのため、自分が育てることができるまで性行為をしない・避妊を守ることを守ってほしい。</p>				

【専門医派遣43】

令和6年度長崎県学校保健専門医派遣事業 報告書

学校名 諫早市立諫早中学校

実施日 令和 6年 11月 22日(金)

場 所 諫早市立諫早中学校 諫早市西郷町930番地1

講 師 立石産婦人科医院 小無田 明美 氏 (産婦人科医)

形 態 (講話) ・職員研修 ・その他()

参加者	生徒 (2) 学年 (209) 人	学校職員 (15) 人	保護者 (0) 人	その他 (0) ----- (0) 人
-----	-----------------------------	------------------	----------------	----------------------------------

テーマ 【 かけがえのない命 かけがえのない自分
～産婦人科医だから話せる性をめぐる問題～ 】

内容(具体的に)

- ・40億年、生命の旅
- ・思春期の心と身体の発達について
- ・性感染症について
- ・LBTQ について

<当日の様子>



<講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等>

- ・本校での講演が毎年行われていることに、とても専門医として嬉しいという言葉をいただいた。
- ・女性アスリートに向けての講演も多くされていることから、機会あるごとに生徒への紹介を行いたい。
- ・保健室に月経痛の症状で来室する生徒も多い中、講演の感想を聞いてみると、とても分かりやすく、安心して目を輝かせてくれた。専門医の「いつでも来ていいよ」という言葉は、生徒にとって何よりも心強い言葉になっていた。
- ・情報をたくさん持って錯綜していると感じている生徒と、ほとんど無知の生徒も見られ、専門医からの正確な情報や言葉の大切さを感じた。
- ・講演後に保健体育委員会の生徒で、講演内容をまとめ、全校生徒へ情報を発信する。

【専門医派遣44】

令和6年度長崎県学校保健専門医派遣事業 報告書

学校名 長崎県立波佐見高等学校

実施日 令和 7年 2月 21日(金)

場 所 長崎県立波佐見高等学校 陶心館

講 師 医療法人 まつお産婦人科 松尾 剛氏 (産婦人科医)

形 態 ・講話 ・職員研修 ・その他()

参加者	生徒 (2) 学年 (81) 人	学校職員 (11) 人	保護者 () 人	その他 () ----- () 人
-----	----------------------------	------------------	--------------	------------------------------

テーマ 【妊娠・出産に関わる知識・理解とライフプラン】

テーマと内容

1. 性行為の結果起こりうること
妊娠の経過、望まない妊娠、人工妊娠中絶、避妊の種類、性感染症
2. 性暴力について
デートDV、緊急避妊ピル(アフターピル)、性被害防止
3. 性の多様性

<当日の様子>

はじめはやや緊張気味の様子があったが、「妊娠・出産」というテーマについての生徒達の関心は深く、ほとんどの生徒が松尾先生の話に熱心に耳を傾けていた。



<講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等>

妊娠・出産に関しての専門的な臨床の立場から、分かりやすい資料や具体的な事例を通して、性や命の大切さを示していただいた。講話の最後には、自分や相手を思いやる気持ち、命の責任、そして今大切にしなければならない事など、生徒自身が気付き、考えるための熱いメッセージがあった。提出された感想文には、妊娠や性感染症、避妊、人工妊娠中絶、デートDVといった多岐に渡る内容について、身近なことと捉え、正しい知識を身に付けることはもちろん、パートナーを思いやる気持ちの大切さなどが思い思いに綴られていて、自分の性やこれからの生き方に向き合う良い機会となった。

【専門医派遣45】

令和6年度長崎県学校保健専門医派遣事業 報告書

学校名 佐世保市立清水中学校

実施日 令和6年 11月 28日(木)

場 所 清水中学校体育館

講 師 産科・婦人科東島レディースクリニック 東島 博 氏 (産婦人科医)

形 態 ・講話 ・職員研修 ・その他()

参加者	生徒 (3) 学年 (72) 人	学校職員 (7) 人	保護者 (0) 人	その他 () ----- (0) 人
-----	----------------------------	-----------------	----------------	--------------------------------

テーマ【 思春期ってなんだろう？ 性ってなんだろう？ 】

テーマと
内 容

内容(具体的に)

- ・第二次性徴と男女の体のづくり
- ・月経について
- ・男の子の体について
- ・妊娠と出産
- ・性感染症、子宮頸がんワクチンについて

<当日の様子>



<講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等>

- ・自分の体を大切にすること(体の清潔を保つ、感染症から身を守る)
- ・相手の体を大切にすること(異性の体の違いを理解する)
- ・家族の体を大切にすること(がんについて)
- ・命の大切さ(妊娠、出産について)

ちょうど子宮頸がんワクチンの接種対象期にあたる女子中学生からは、家族でワクチンについて話してみるなどの意見が多く出ていた。男子生徒もなかなか男子の性器について詳しく話を聞く機会がなかったので、とても貴重な経験となっていたようだ。

【専門医派遣46】

令和6年度長崎県学校保健専門医派遣事業 報告書

学校名 長崎県立清峰高等学校

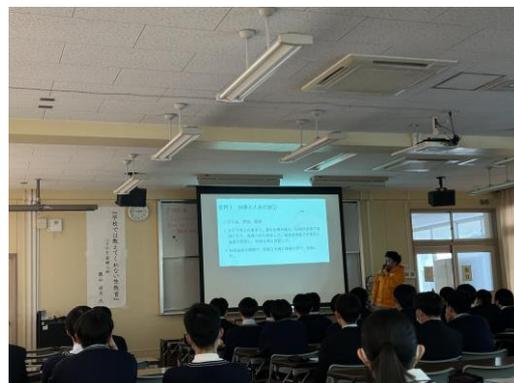
実施日	令和 7年 1月 16日(木)			
場 所	清峰高校 大講義室			
講 師	医療法人 TOG つきやま産婦人科 築山尚史 氏 (産婦人科医)			
形 態	・講話 ・職員研修 ・その他()			
参加者	生徒 (3) 学年 (122) 人	学校職員 (10) 人	保護者 (0) 人	その他 () 人
	テーマと内容 テーマ【 学校では教えてくれない性教育 】 ・性行為の意味や性感染症、妊娠・出産の症例についての実例を交えた説明。 ・高校2年生の妊婦を含む3つの症例についての意見交換。 ・性交に適した時期や避妊についての説明。 ・コンドームの正しい装着方法や避妊失敗の原因・緊急避妊薬についての説明。 ・女性の身体について(生理などホルモン周期による身体と心の変化／卵子の老化とライフステージ／子宮頸がん検診・ワクチン)の説明。 ・多様な性(LGBTQ)の重要性についての説明。			

＜当日の様子＞

高校2年生の症例では、男女ともに真剣に考えていた。

また、避妊の際に必要なコンドームを配布した際には、抵抗があるようだったが男女とも必要な知識である旨を話され納得した様子であった。

子宮頸がんやワクチン接種・生理などできつい思いをしていることについて、男子生徒は理解した上で頷いていた。また、「男性の来院もある」との講師の言葉を聞いて、産婦人科をもっと気軽に利用しても良いということ学ぶこともできた。



＜講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等＞

【講師の意見・助言】

・卒業前ということもあり、実際に必要となる知識や性に関する考え方を伝える必要がある。本当は、実際に使用する際に失敗しないためにも避妊具を持ち帰ってもらい自宅で一度練習してほしいが、学校という立場上、コンドームを配付し性交を勧めたと受け止められる可能性もあるため、配付は厳しいと理解できる。

【生徒の意見・行動変容】

・症例検討の際の表情や感想文から、性や相手への配慮・ライフステージなどについて考える機会になった。

・「自分の行動に責任が生じる」

・「子宮頸がんワクチンで予防はできるが、がんになる可能性0になるわけではないので定期健診を受ける」などの意見が出た。

【専門医派遣47】

令和6年度長崎県学校保健専門医派遣事業 報告書				
学校名	島原市立第二中学校			
実施日	令和 6年 11月 7日(木)			
場 所	全学年多目的室			
講 師	医療法人湘南会 山崎産婦人科医院 宮崎 恭子 氏 (産婦人科医)			
形 態	<input checked="" type="radio"/> 講話 ・職員研修 ・その他()			
参加者	生徒	学校職員	保護者	その他
	(3) 学年 (43) 人	(5) 人	(0) 人	() ----- (0) 人
テーマと内容	テーマ【 性感染症の理解と予防について 】 内容(具体的に) ・思春期の「性」、心と体の発達について(プライベートゾーン、ふれあい、妊娠と出産) ・性感染症の理解と予防(性感染症の種類、現状の数値、症状、対処法や予防法 など) ・望まない妊娠、人工中絶、避妊、不妊治療等について ・性被害、性暴力(デートDV等)			
<p>＜当日の様子＞</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>				
<p>＜講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等＞</p> <p>講師の宮崎先生とは、講師決定後から講話前日までに電話・対面合わせて3回の打合せを行った。教科書の内容を踏まえながら、専門的知識と本校生徒の実態に寄り添った内容であった。難しい専門用語も、できるだけ中学生に理解できるような表現で、途中フレックスタイムも交えながら約90分間、ほとんどの生徒が真剣な表情で、集中して聴いていた。</p> <p>近年、インターネットの普及により様々な情報があふれ、正しい情報かをどうかを判断し、正しい知識を身につけることが必要である。本校生徒も男女交際や性について興味を持つ生徒も多くいる。初めて知ったことや間違った知識であったことに気づけたこと、異性や互いの性について学び、理解すること、正しい知識を身につけ、しっかりと意思表示して、嫌なことは「NO」とハッキリ断ることが、自分自身や相手を守ることに繋がることなどが生徒の感想に多く書かれていた。</p>				

【専門医派遣48】

令和6年度長崎県学校保健専門医派遣事業 報告書				
学校名 <u>長崎県立鶴南特別支援学校五島分校</u>				
実施日	令和 6年 12月 3日(火)			
場 所	長崎県立鶴南特別支援学校五島分校 高等部			
講 師	長崎県五島中央病院 産婦人科 近藤 さやか 氏 (産婦人科医)			
形 態	・講話 () ・職員研修 () ・その他 ()			
参加者	生徒 (中学部・高等部全) 学年 (16) 人	学校職員 (11) 人	保護者 (3) 人	その他 () (0) 人
	テーマ【 思春期のこころとからだ 】 内容(具体的に) ① 「だいじ」の話 ・プライベートゾーン(「だいじ だいじ どーこだ」の絵本を用いて) ・相手との距離感、スキンシップのルール ・自分と相手の心と体を大事にすること ② 男性のからだ ・男性の体の変化 ・精通の仕組み ・マスターベーション(セルフプレジャー)のルール ③ 女性のからだ ・女性の体の変化 ・月経の仕組み ・月経困難症について ④ 妊娠について ・妊娠すること、妊娠させることができる体になっているということ			
<当日の様子> パワーポイントと大型絵本を使用し、生徒に分かりやすい表現とイラストを用いて講話をいただいた。生徒の席を回って意見を聞き、反応を確認しながら進めてくださり、生徒も真剣に話を聞いていた。				
				
<講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等> 講師からは、絵本を用いてプライベートゾーンは大事な部分なので、見るのも触るのも自分だけ、人前では触らない、写真や動画を撮らないことなど、自分と相手の心と体を守るルールのお話があった。友達をくすぐる行為など身近な事例を取り上げながら、他者との距離感やスキンシップについて、相手が嫌なことはしない、自分が嫌なことは「嫌」と言うことの大切さも伝えられた。男性の体の変化では、マスターベーションは、してはいけないことと不安になる必要はないが、衛生面や誰にも見られない場所で行うなどのルールを守ることについて指導された。女性の体の変化では、月経困難症について、心配な症状があるときには、保護者や先生に相談することを勧められた。精通、月経が始まれば、妊娠すること、妊娠させることができる体になっていくことや、精子と卵子が出会えば妊娠が成立することを伝えた上で、中高生で妊娠したら、体も成熟する途中であるため心配であることや、望まない妊娠は避けることを助言された。また、困ったことがあれば病院は24時間対応してくださることも伝えてくださった。生徒の感想では、「自分で自分の体を守れるようにしたい」、「自分の心と体を大事にしていきたい」、「相手の気持ちを考えて行動したい」、「人との距離や関係についてももう一度考えてみたい」などがあり、それぞれが講師からの指導を真摯に受け止めている様子が見られた。男女の体の変化や妊娠については、「知らないことばかりで勉強になった」、「男女で大人になるための準備がそれぞれ異なると気付いた」、「身近に頼りにできる先生がいてくださって安心」などの感想が聞かれた。講話後の月経や精通、思春期の心の変化に関する質問や相談も多く、自分の体と心に向き合い、専門家から正しい知識を得る機会となった。				

【専門医派遣49】

令和6年度長崎県学校保健専門医派遣事業 報告書				
学校名	壱岐市立勝本中学校			
実施日	令和 6年 11月 21 日(木)			
場 所	壱岐市立勝本中学校 体育館			
講 師	医療法人社団協生会 品川病院 品川 貴章 氏 (産婦人科医)			
形 態	⊙講話 ・職員研修 ・その他()			
参加者	生徒 (全)学年 (113)人	学校職員 (15)人	保護者 (0)人	その他 ()人
テーマと内容	<p>テーマ【思春期の健康講話】</p> <p>内容(具体的に)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 思春期の体の変化(二次性徴の説明) 2. 月経と妊娠(月経がおこるしくみ、受診の目安、妊娠の経過、人工中絶、妊娠の適齢期と、若年妊娠および高年妊娠のリスク) 3. 性感染症(クラミジア、梅毒、性感染症が多い年齢、性感染症のリスクと予防) 4. 子宮頸がん、予防ワクチン(子宮頸がんの原因や病態、ワクチンの効果と副反応、世界的に見た子宮頸がんの現状、ワクチンについて、いつ・何回受けるのか・費用) 			
<p><当日の様子></p> <p>全校生徒、集会時の隊形(男女混合)で座って聴講。</p>				
				
<p><講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大人と子どもの生理痛は同じではなく、子どもの場合は子宮の機能や発達が途上であることで経血をうまく排出できずに起こるものであるため、我慢をする必要はない。受診してほしい。➡翌週、中2の女子生徒が1名産婦人科受診。(養護教諭が受診勧告をしていた時には受診に繋がらなかった) ○ 感染症は意外と多いという事実がある、治療は片方だけではなく、パートナーと一緒に受ける。➡生徒の感想に多数記載あり。「他人事だと思っていたが、自分もかかるかもしれないと思った」、「未治療だと不妊になることがあるから治療を受けたい」、「パートナーと必ず一緒に受けたい」、「安易に性行為をしたくない」、など危機意識が高まったことが伺えた。 				

【専門医派遣50】

令和6年度長崎県学校保健専門医派遣事業 報告書

学校名 長崎県立島原翔南高等学校

実施日 令和 6年 12月 11日(水)

場 所 本校A棟 産業社会と人間室(4F)

講 師 哲翁 正博 氏 (産婦人科医)

形 態 (講話) ・職員研修 ・その他()

参加者	生徒 (全) 学年	学校職員	保護者	その他 ()
	(80) 人	(25) 人	(0) 人	() 人

テーマ【 後悔しない未来のために ～ 産婦人科医の立場から 】

テーマと
内 容

内容(具体的に)
生徒が自分自身を大切にする価値観に基づき、主体的に正しい情報を学び、自ら思考、判断し、正しい行動ができるようにする。また、HIV を含む感染症や望まない妊娠、子宮頸がんワクチンについての正しい知識を、生徒の心身の発達段階を考えながら効果的に指導する。

<当日の様子>



<講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等>

講師の丁寧な講話の内容により、最初は消極的だった生徒も最後は熱心に話に聞き入っていた。授業でも、性教育については実施しているが、より具体的に理解できたようであった。講話終了後、実施した感想文においても、意識の変化を感じ取ることができた。